



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月10日

上場取引所 東 札

上場会社名 クワザワホールディングス株式会社  
 コード番号 8104 URL <https://www.kuwazawa-hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 桑澤 嘉英  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員経営企画部長 (氏名) 藤川 俊明 TEL 011-860-5080  
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	49,421	6.1	945	28.9	1,151	33.1	710	43.4
2022年3月期第3四半期	46,582	—	733	2.6	865	△10.5	495	△3.2

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 718百万円 (64.0%) 2022年3月期第3四半期 438百万円 (△33.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	47.30	—
2022年3月期第3四半期	32.98	—

(注) 前第3四半期会計期間の売上高については、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を適用した影響により、対前年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	45,238	—	14,847	—	—	32.5
2022年3月期	39,018	—	14,279	—	—	36.3

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 14,716百万円 2022年3月期 14,149百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	1.7	950	14.9	1,050	5.2	600	7.2	39.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期3Q	16,694,496株	2022年3月期	16,694,496株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,665,387株	2022年3月期	1,665,283株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期3Q	15,029,129株	2022年3月期3Q	15,029,262株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策と経済社会活動の両立が進展する中、全国旅行支援や水際対策緩和などの各種政策の効果もあり、景気は緩やかな回復の兆しがみられました。しかしながら、ウクライナ情勢長期化によるエネルギー・原材料価格の高騰や急激な円安進行による物価上昇に加え、欧米諸国の金融引き締めによる景気後退局面への転換懸念など、景気の先行きは一層不透明な状況となりました。

当社グループの位置する建設関連業界におきましては、資材価格の高騰や労務費の上昇など建設コストが上昇する厳しい経営環境の中、新設住宅着工戸数は減少し、公共投資も弱めの推移となった一方、民間投資は堅調に推移しました。

このような環境において当社グループは、顧客獲得に向けた営業力の強化と施工体制の拡充、PB商品の開発・拡販、既存取引先との関係強化を実施しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高494億21百万円（前年同期比6.1%増）、営業利益9億45百万円（同28.9%増）、経常利益11億51百万円（同33.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益7億10百万円（同43.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### （建設資材）

建設資材売上は資材価格の段階的な値上げ等の影響はあったものの、営業力強化による顧客と信頼関係を構築・維持することができ、基礎資材売上は主力市場である北海道においては公共投資が弱い動きながら底堅く推移したことなどから、売上高は264億92百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益は4億54百万円（同68.0%増）となりました。

#### （建設工事）

当社グループの主力市場では住宅投資は減少しているものの、設備投資の持ち直しを受け、施工体制の整備・拡充を推し進めてきた結果、中小規模を中心とした工事受注が堅調に推移したことなどから、売上高は196億83百万円（前年同期比16.9%増）、セグメント利益は1億78百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。

#### （資材運送）

前年好調に推移した基礎資材運送の反動減や急激なエネルギー価格の高騰により、売上高は28億30百万円（前年同期比18.8%減）、セグメント利益は1億71百万円（同36.4%減）となりました。

#### （不動産賃貸）

賃貸収入が安定的に推移したものの、修繕費などが例年以上に発生したことなどから、売上高は1億95百万円（前年同期比2.0%増）、セグメント利益は1億15百万円（同17.4%減）となりました。

#### （その他）

太陽光発電事業が順調に推移した結果、売上高は2億20百万円（前年同期比5.5%増）、セグメント利益は54百万円（同21.1%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### （資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ62億20百万円増加して452億38百万円となりました。流動資産は同63億38百万円増加して358億16百万円、固定資産は同1億17百万円減少して94億22百万円となりました。流動資産の増加の主なものは、受取手形、売掛金及び契約資産の増加によるものであります。固定資産のうち有形固定資産は、同1億84百万円減少して65億63百万円となりました。無形固定資産は、同35百万円増加して1億54百万円となりました。投資その他の資産は、同31百万円増加して27億4百万円となりました。固定資産の減少の主なものは、減価償却が進んだことによる建物及び構築物の減少であります。

#### （負債の状況）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ56億51百万円増加して303億90百万円となりました。流動負債は、同73億82百万円増加して275億62百万円となりました。流動負債の増加の主なものは、支払手形及び買掛金や電子記録債務の増加によるものであります。固定負債は同17億31百万円減少して28億28百万円となりました。固定負債の減少の主なものは、長期借入金の減少によるものであります。

#### （純資産の状況）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ5億68百万円増加して148億47百万円となりました。この増加の主なものは、利益剰余金の増加によるものであります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の36.3%から32.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,100	7,298
受取手形、売掛金及び契約資産	15,982	19,518
電子記録債権	2,965	5,565
商品及び製品	633	767
販売用不動産	769	1,015
未成工事支出金	510	881
原材料及び貯蔵品	95	97
その他	446	701
貸倒引当金	△25	△29
流動資産合計	29,478	35,816
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,099	2,980
土地	3,120	3,117
その他（純額）	528	465
有形固定資産合計	6,748	6,563
無形固定資産		
その他	119	154
無形固定資産合計	119	154
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	179	188
その他	2,583	2,609
貸倒引当金	△90	△93
投資その他の資産合計	2,672	2,704
固定資産合計	9,540	9,422
資産合計	39,018	45,238

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,269	13,669
電子記録債務	6,802	9,650
短期借入金	30	530
1年内返済予定の長期借入金	490	1,778
未払法人税等	133	268
賞与引当金	205	88
工事損失引当金	0	—
完成工事補償引当金	29	68
その他	1,218	1,509
流動負債合計	20,179	27,562
固定負債		
長期借入金	3,078	1,422
退職給付に係る負債	91	93
資産除去債務	3	3
厚生年金基金解散損失引当金	224	224
その他	1,161	1,084
固定負債合計	4,559	2,828
負債合計	24,739	30,390
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	417	417
資本剰余金	326	326
利益剰余金	13,679	14,239
自己株式	△446	△446
株主資本合計	13,975	14,536
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	212	214
退職給付に係る調整累計額	△39	△34
その他の包括利益累計額合計	173	180
非支配株主持分	130	131
純資産合計	14,279	14,847
負債純資産合計	39,018	45,238

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	46,582	49,421
売上原価	40,426	43,118
売上総利益	6,156	6,303
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	2,723	2,692
その他	2,699	2,665
販売費及び一般管理費合計	5,423	5,357
営業利益	733	945
営業外収益		
受取利息	27	30
受取配当金	34	31
持分法による投資利益	39	54
保険解約返戻金	—	39
雑収入	93	109
営業外収益合計	194	266
営業外費用		
支払利息	55	46
債権売却損	0	0
雑損失	7	13
営業外費用合計	62	60
経常利益	865	1,151
特別利益		
固定資産売却益	5	10
投資有価証券売却益	11	3
特別利益合計	16	14
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	0	0
投資有価証券評価損	—	0
減損損失	5	0
特別損失合計	5	1
税金等調整前四半期純利益	876	1,163
法人税等	378	451
四半期純利益	497	712
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	495	710

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	497	712
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△64	1
退職給付に係る調整額	5	4
その他の包括利益合計	△59	6
四半期包括利益	438	718
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	436	717
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

## (セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設資材	建設工事	資材運送	不動産 賃貸	計				
売上高									
一時点で移転される財	25,700	13,611	3,477	—	42,788	208	42,997	—	42,997
一定の期間にわたり移転される財	156	3,226	—	—	3,383	—	3,383	—	3,383
顧客との契約から生じる収益	25,856	16,838	3,477	—	46,172	208	46,380	—	46,380
その他の収益	—	—	10	191	202	—	202	—	202
外部顧客への売上高	25,856	16,838	3,487	191	46,374	208	46,582	—	46,582
セグメント間の内部売上高又は振替高	754	280	235	156	1,426	0	1,426	△1,426	—
計	26,611	17,118	3,723	348	47,801	208	48,009	△1,426	46,582
セグメント利益又は損失(△)	270	△23	270	139	656	44	701	31	733

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業、保険代理店事業及び車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額31百万円には、セグメント間取引消去△327百万円、各報告セグメントに配分していない全社利益358百万円が含まれております。全社利益は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の収益及び一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	建設資材	建設工事	資材運送	不動産 賃貸	計				
売上高									
一時点で移転される財	26,365	9,884	2,820	—	39,070	220	39,290	—	39,290
一定の期間にわたり移転される財	126	9,798	—	—	9,925	—	9,925	—	9,925
顧客との契約から生じる収益	26,492	19,683	2,820	—	48,995	220	49,215	—	49,215
その他の収益	—	—	10	195	206	—	206	—	206
外部顧客への売上高	26,492	19,683	2,830	195	49,201	220	49,421	—	49,421
セグメント間の内部売上高又は振替高	828	243	232	149	1,453	0	1,453	△1,453	—
計	27,320	19,926	3,062	345	50,654	220	50,874	△1,453	49,421
セグメント利益	454	178	171	115	920	54	975	△29	945

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電事業、保険代理店事業及び車両整備事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△29百万円には、セグメント間取引消去△260百万円、各報告セグメントに配分していない全社利益231百万円が含まれております。全社利益は、主に報告セグメントに帰属しない持株会社の収益及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。